ねんきんだより Pensions News

国民年金保険料は期限内に

令和３年４月分から令和４年３月分までの国民年金保険料は、月額１６，６１０円です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができます。また、クレジットカードによる納付やインターネットなどを利用しての納付、そして便利でお得な口座振替もあります。

日本年金機構では、国民年金保険料を納付期限までに納めていただけないかたに、電話、書面、面談により早期に納めていただくよう案内を行っています。

未納のまま放置すると、強制徴収の手続きによって督促を行い、指定された期限までに納付がない場合は、延滞金が課されるだけでなく、納付義務のあるかたの財産を差し押さえることがあります。

所得が少ないなど、保険料の納付が困難な場合は、免除される制度や猶予される制度がありますので、年金事務所や町の担当窓口へご相談ください。

※納付義務者は被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者および世帯主になります。

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

偽警告表示でプリペイド型電子マネーを搾取する手口にご注意！

【事例】

パソコンを利用していたところ、突然画面いっぱいに警告メッセージが表示された。慌てて表記されていた連絡先に電話をかけると「パソコンが汚染されており、緊急を要する。電話を切らずにプリペイド型電子マネーで２万円を支払え」と指示された。すぐにコンビニで電子マネー２万円分を購入し、プリペイド番号を伝えたが「番号が間違っている。再度２万円分購入してきて」と言われ、再度購入し番号を伝えた。翌日「さらに２万円支払えば４万円返金する」と意味の分からないことを言われた。（60歳代 女性）

【ひとこと助言】

プリペイド型電子マネーでの支払いを指示する詐欺的な手口として「パソコンやスマートフォンに突然偽の警告画面を表示し、慌てさせたうえで連絡をさせる」という事例が複数報告されています。カード番号だけで利用できる電子マネーは、番号を一度相手に伝えてしまうとお金を取り戻すことは非常に困難です。

パソコンのセキュリティ対策には、信頼できるセキュリティソフトをあらかじめインストールしておくなどの対応を行い、見慣れない警告画面の指示に簡単に従ってはいけません。対応に困ったときは、消費生活センターやＩＰＡ（独立行政法人情報処理推進機構）の情報セキュリティ安心相談窓口✉［anshin@ipa.go.jp］に相談したり、ＩＰＡのホームページの内容を参考にしましょう。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
６月６日（日）	ごが内科楡クリニック ７３－７５８７	真中医院 ７２－１６３０	館林医院 ７４－２１１２	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
６月13日（日）	ミツワ診療所 ７０－３０３０	益田小児科医院※ ６２－５５３５	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
６月20日（日）	ハートクリニック ７１－８８１０	横田医院 ７２－０２５５	堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	－
６月27日（日）	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	堀越医院 ７３－４１５１	田沼整形外科医院 ８８－９２２３	－
７月４日（日）	かさはら内科医院 ５５－２５３７	竹越医院 ８４－３１３７	高木整形外科（午前のみ） ６２－６６１１	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
７月11日（日）	森下内科医院 ７３－７７７６	菅沼医院 ７２－９０９０	館林市夜間急病診療所 ７３－２３１３	－
７月18日（日）	加藤医院 ８９－１０３１	田沼内科医院 ８８－７５２２	井上整形外科医院 ８２－１１３１	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
７月22日（祝）	さくま内科胃腸科クリニック ５５－２５００	神尾内科医院 ７５－１２８８	ふじの木整形・内科クリニック ９１－４０７０	－

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
７３－８８１８
午前９時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院　☎７２－３１４０（内科系・外科系）
◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター
☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）
●内科系の※は、小児科のみとなります。●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。
●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

水道のことは
群馬県東部水道企業団館林支部
☎０２７６－８０－３２０１
（関連記事が７ページにあります）

Face フェイス

より高みを目指して和歌山へサッカー修行に

将来はスポーツの楽しさを子ども目線で伝えたい

ⓒKaori MAEDA

大月志浩さん

おおつき　ゆきひろ　17歳
大字下五箇出身

趣味
サッカー、読書、ゲーム、魚釣り

好きな食べ物
フルーツタルト、板倉のお米、キュウリの浅漬け

中学で群馬県の頂点に

大月さんは、和歌山県の初芝橋本高校の３年生。高度なサッカーを目指し地元を離れ、サッカーと学業に励んでいます。

「５歳の時に板倉サッカークラブジュニアで始めました。週末は遠征が多く、移動中は遠足のようで楽しかった」そうですが、その頃の前橋の強豪チームとの対戦では、力の差を感じ、更に上達したいという思いを強くしました。

中学生の時の印象に残る試合は、中学２年の群馬県夏季大会決勝戦。この試合で決勝ゴールを決め、板倉中学校は53年ぶりに群馬県中学サッカーの頂点に立ち、関東大会への出場を勝ち取りました。

初芝橋本高校への進学

小学５年の時に、全国高校サッカー選手権を観戦に行き、その時の試合が、前橋育英高校VS初芝橋本高校でした。当時、初芝橋本高校のキャプテン末吉墨（すえよしるい）さん（現JEF千葉）のプレーを見て憧れました。

高校は高野山麓にあり、周辺は山ばかり。学校の敷地内にある寮での生活で、部活の休みはほぼ無いということです。

高校では、和歌山県高校サッカー新人戦・決勝で、先制点を含め２得点し、優勝に貢献しましたが、第99回全国高校サッカー選手権大会（2020年12月31日～2021年１月11日）では学校としては出場できたものの、大月さん自身は大会２週間前にケガをしてしまい、個人的には出場できませんでした。

「夏のインターハイ、その後の県大会など万全を期して臨みたい」という大月さん。今の目標は全国高校サッカー選手権で「ベスト８」に入る事です。

将来の夢

「高校の体育教師になってサッカー部の顧問をしたいです。運動が苦手な子どもにも、スポーツの楽しさを教え、子ども目線の指導をしてみたいです」

高校生最後の１年をサッカーに学業に一生懸命な大月さん。将来の夢をしっかり掴み取って板倉町の子どもたちの憧れの人になって欲しいです。

レポーター
広報編集委員
川田富知子（かわだふじこ）